

海のレッドデータブック2023が完成しました



9月6日、市長室で「鳥羽市海のレッドデータブック2023～鳥羽市の絶滅のおそれのある野生生物～」の完成発表を行いました。

レッドデータブックとは絶滅のおそれのある野生生物の情報を記載した図書で、本書は市内に生息する絶滅のおそれのある海の生物を紹介しています。海の生物に限定したレッドデータブックは全国的にも珍しく海と密接にかかわる鳥羽ならではの図書となっています。

現在、市立海の博物館内と市立海の博物館オンラインショップで販売中です。また、市立図書館での閲覧・貸出や市内小中高校へ配布する予定です。ぜひご覧ください。

災害時における協力に関する協定を締結



9月7日、シンフォニアテクノロジー株式会社伊勢製作所と「災害時における活動拠点及び避難場所の提供の協力に関する協定書」を締結しました。

同社とは災害時の活動拠点提供についての協定を締結していましたが、新事務所棟の竣工に伴い、協力していただける敷地や施設、協力内容を拡大し、避難場所としての活用や災害対策物資の保管場所としての施設提供についても追加をいただきました。

中村市長は「避難場所として協力いただけるのは地域の安心にもつながり非常にありがたい」とお礼を述べました。

マレーシア研修員が保育所給食を視察



9月11日～12日、マレーシアの国や地方の機関の職員が、日本における保育所の給食運営管理を学ぶため、安楽島保育所と答志保育所を訪れました。この視察は、独立行政法人国際協力機構（JICA）が開催する研修の一環で、就学前児向け給食提供ガイドラインの開発に向けたものです。

研修員は、調理や喫食の様子を見学し、給食運営の説明を受けました。また、児童による踊りや太鼓の発表や、一緒に日本の遊びをして交流を深めました。

9月1日『答志島トロさわら宣言』！



9月1日、答志島で「答志島トロさわら宣言」が行われました。『答志島トロさわら』は、鳥羽のサワラの魚価向上と「鳥羽ざかな」の魅力付けを目指してブランド化したもので、今年の2月には特許庁により地域ブランドの「地域団体商標」にも登録されました。

答志島付近で漁獲されるサワラは脂乗りが良く、秋から冬にかけて脂肪含有率が20%を超えるような個体も出るなど、全国的にもトップクラスの脂乗りです。

鳥羽磯部漁協の永富洋一代表理事組合長は「脂が乗ったトロさわらの刺し身のおいしさを多くのかたに知ってほしい」と話してくれました。